



6年生前期修学旅行

副校長 竹下 貴

134期生より、修学旅行を2回に分けて実施することとなりました。前期は5年生2月に広島（1泊2日）へ、後期は6年生2月に鹿児島（2泊3日）へ行きます。ただ、昨年2月はまん延防止等重点措置が発令されていたため前期修学旅行は延期となり、4月14日・15日ようやく広島を訪れることができました。

初日は平和学習です。原爆ドームを見学した後、平和記念資料館へ行き、被爆された岸田弘子さんのお話を聴きました。静かな口調の中に平和への祈りが込められており、子どもたちは真剣な態度で聴いていました。その後、平和記念公園へ行き、千羽鶴を奉納しました。2日目は宮島へ渡り、厳島神社などを見学しました。待ちに待った修学旅行。よい思い出になったと思います。



低学年用更衣カーテンの設置

教頭 林 英男

中・高学年ではカーテンで教室を区切り更衣を行ってききましたが、昨年度より低学年でも同様の配慮を行うことになりました。幼くても男女の意識は必ずありますし、体を見られて恥ずかしい感覚もあります。中には男女混合で着替えることにより、苦痛を感じる子もいることでしょう。子どもの人権を尊重する教育現場でありたいものです。



「ロボット・プログラミング×教科」

～物事を構造から理解することを目指して～

ロボットサイエンス教育部長 神田 孝央

小学校では、昨年度より「プログラミングの授業」を全学年で行っています。文科省が提唱する“プログラミング的思考の育成”を、“複雑な動きの根本を抽出し、順序だてて構造化できる力の育成”と捉え、これこそ複雑化する社会を生きる必要のある現代の子どもたちが身につけるべき重要な力であると考えました。そこで、6年間での発達段階に応じた内容を、教科・単元に落とし込んで授業を行っています。

授業を行うにあたっては、偏ったプログラミング指導にならないよう、できるだけ多くのデバイスと教科を活用して、プログラミング教育の“根本”である「構造化」を感覚的に理解できる授業づくりを心掛けています。

